『コロナの時代の老人クラブとは』について意見交換を実施

全市町老連会長研修

11月25日・26日の両日、シーサイドホテル舞子ビラ神戸において、市町老連会長研修会を開催したところ、各市町老連会長ほか36名が参加しました。

1日目は、県老連事務局長から「県老連組織のあり方及び運営方法の見直し（案）」について報告と意見聴取を行い、その後、兵庫県の行政説明があり、高齢政策課からは「高齢者施策及び老人クラブの施策について」と、認知症対策室からは「兵庫県における認知症施策の推進について」の説明がありました。

また、『コロナの時代の老人クラブ活動とは』をテーマに、8つの小グループに分かれ、それぞれの地域の取組状況や意見交換などを行い、その後の全体会で総括発表を行いました。

2日目は、いきいきクラブ体操でスタートし、兵庫県歯科衛生士会から、「体の健康お口から」と題する口腔ケアの講演をいただき、最後に、ニュースポーツの「スカットボール」の実習を行いました。

防災避難知識の向上と各市町における取り組み情報交換！

全市町若手部長合同研修の開催

県老連では、兵庫県から受託している「高齢者自助力（防災意識）強化推進業務」を円滑に遂行するため、県内39市町すべての女性部長及び若手部長を『防災補助リーダー』に任命し、各市町老人クラブの会員の防災意識の向上に努めています。

その一環として、新型コロナウイルス感染予防のため開催延期となっていた若手部長合同研修を11月5日に、県民会館で開催致しました。

この研修ではまず、防災講習として、人と防災未来センターの木作主任研究員から「高齢者の避難にあたっての留意点」についてご講演いただいた後、丸山三田市老連会長から「先輩からのエール・期待すること」のメッセージをいただき、さらに、吉田西脇市老連若手部長（県老連副会長）からは、コロナの時代にあっての老人クラブ活動として「ていねいに時を待てば」と題する取組事例のご紹介をいただきました。

その後、3～4人ずつの小グループに分かれ、短い時間ではありましたが、日頃なかなか知り合うことのない同じ職責を担う部長さん達が交流し、各地元における活動事例の紹介や、コロナの時代にあっての老人クラブ活動のあり方について活発な意見交換が行われました。

わたしたちはのじぎくクラブ兵庫の活動をサポートしています